## プロジェクト研究 「主要国の農業戦略等に関する研究」 平成 26 年度 カントリーレポート 第8号

## 米国農業法,ブラジル,韓国,欧州酪農

## 目 次

第1	章 2014 年農業法セーフティネット・プログラムの選択
	ーアメリカの農業者は PLC と ARC のどちらを選んだのかー
	(吉井邦恒)1
1. 1	: じめに
2. F	'LCとARCの概要 ·······2
3. 1	:ーフティネット・プログラムの選択状況8
4. 農	業経営安定対策に係る政府支出21
5. 未	3わりに
第2	章 ブラジル:
	-近年の穀物生産の動向と外国人の農地取得に関する制限について-
	(清水純一)29
はじ	カに29
1. 7	<sup>*</sup> ラジル経済とアグリビジネス29
2. 穀	物生産33
3. 穀	t物の輸出経路 ·······40
4. 夕	- 国人の農地取得に関する制限43
第3	章 韓国の FTA 国内対策
	(樋口倫生)49
1. 1	: じめに49
2. 農	<b>業科学技術政策 · · · · · · · 49</b>
3. F	TA 被害補填
4. ま	: とめ68

## 第4章 欧州における酪農協の概況と乳価の動向

	(木下順子)71
1.	はじめに71
2.	酪農協と乳業の現状72
3.	国別の生産者乳価の動向81
4.	酪農協シェアと乳価水準に関する欧州委の分析87
5	おわりに